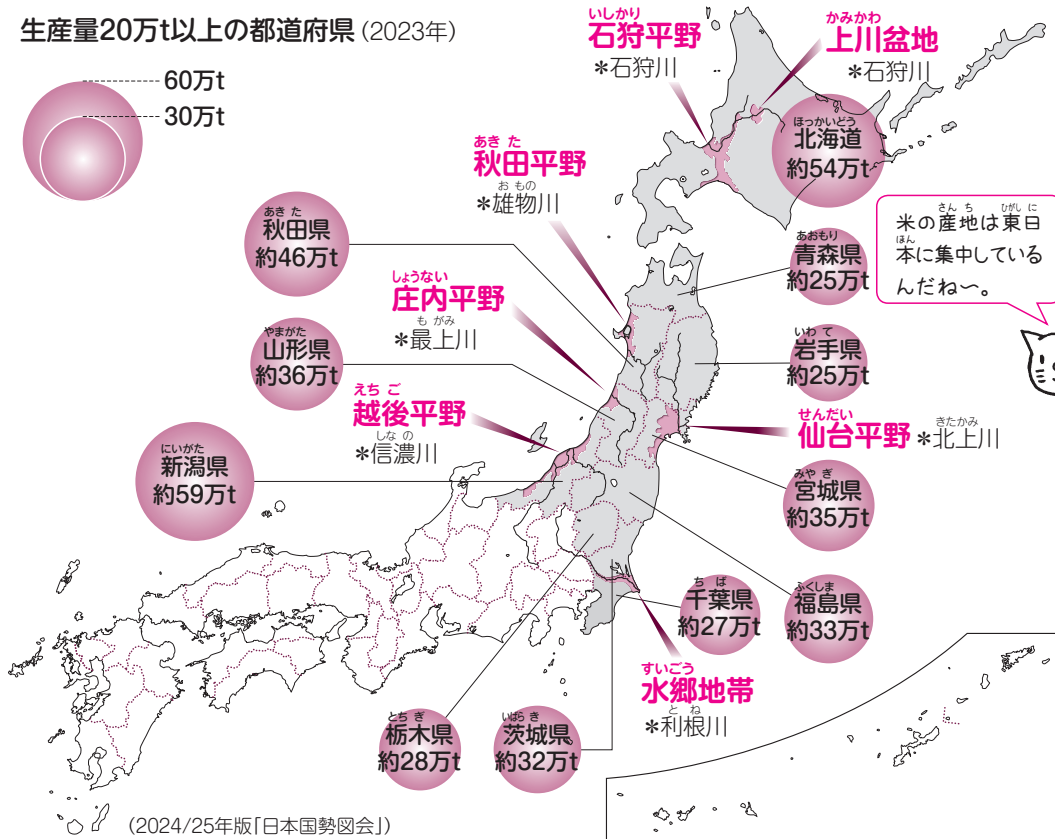
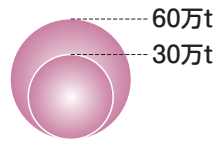




米の生産の多い都道府県と米作地帯

生産量20万t以上の都道府県(2023年)



米の産地は東日本に集中しているんだね。



- 米作りには大量の水が必要のため、大きな川の下流の平野や中流の盆地でさかん。
- 平野が少なく大きな川がない沖縄県や、耕地の少ない東京都などは生産量が少ない。



マスター問題

次の問題に答えましょう。

答えと解説…131 ページ

- ☐ (4) 米作りがとくにさかんな都道府県を2つ答えなさい。
- ☐ (5) 次の①～④の道県で米作りがさかんな平野をそれぞれ答えなさい。
① 北海道 ② 宮城県 ③ 山形県 ④ 新潟県
- ☐ (6) (5)の①～④の平野を流れる川を、次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。
ア 北上川 イ 信濃川 ウ 石狩川 エ 最上川
- ☐ (7) 米の生産量が少ない都道府県を、次のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。
ア 栃木県 イ 東京都 ウ 千葉県 エ 沖縄県

とる漁業から育てる漁業へ



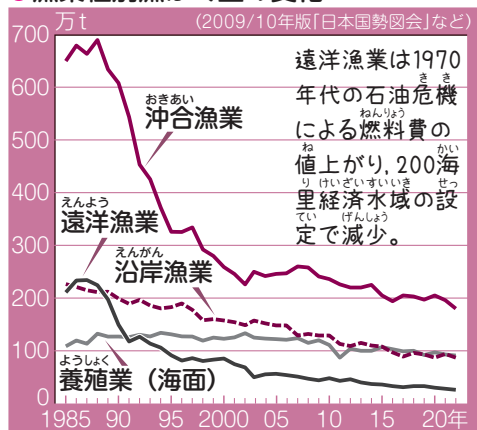
漁かく量の変化・水産物の輸入

- **沿岸漁業**…日帰りできる範囲で漁をする。さば、あじ、たらなど。
- **遠洋漁業**…日本の200海里外で数十日から数か月かけて漁をする。まぐろ、かつおなど。
- **排他的経済水域**…領海の外で沿岸から200海里(約370km)

内の水域のことで、水産資源や鉱産資源が沿岸国のものとなる。

- 日本の漁かく量は世界有数だが、近年は減少しており、日本は**世界一の水産物輸入国**でもある。

●漁業種別漁かく量の変化

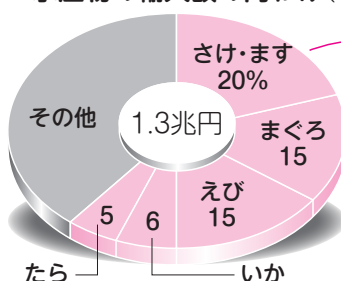


- **沖合漁業**…数日かけて沖合いで漁をする。いわし、かれい、さんまなど。

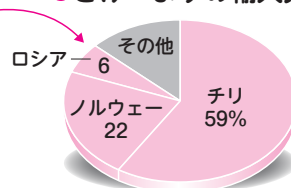
育てる漁業…近年さかん。

- **養殖業**…いけすなどで魚や貝、海そうなどを育てて出荷する。
- **栽培漁業**…たまごから稚魚や稚貝を育てて、海や川に放流する。

●水産物の輸入額の内わけ(2023年)



●さけ・ますの輸入先



(2024/25年版「日本国勢図会」)



マスター問題

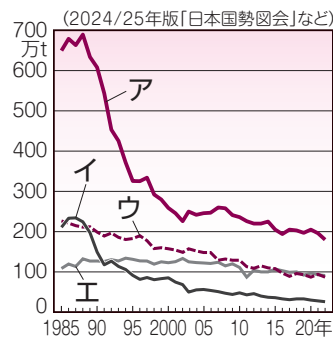
次の問題に答えましょう。また、[] に入ることばをうめましょう。

答えと解説…132ページ

- (1) 右のグラフは、**漁業種別の漁かく量の変化**を表しています。次の①～③にあてはまる漁業を、グラフ中のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。
- ① 遠洋漁業
 - ② 沖合漁業
 - ③ 養殖業

- (2) グラフ中のイの漁業の漁かく量がへったのは、1970年代の[]による燃料費の値上がりや、各国の[]経済水域の設定などが大きな原因です。

- (3) 日本の水産物で輸入額が最も多いのは[]で、[]やノルウェーから輸入しています。



- (2) 鳥取砂丘は砂浜海岸として日本一の広さをほこる。
- (4) 北から南に流れる親潮(千島海流)とリマン海流は寒流、南から北に流れる黒潮(日本海流)と対馬海流は暖流である。

7 2万5千分の1の地形図で1cmは実際250m 19 ページ

- (1) イ (2) ㊦ (3) 南西
(4) 500m

解説 (1) 天神山のしゃ面には人の地図記号が多く見られる。これは針葉樹林の地図記号である。

(2) 等高線はその間隔が広いほど、しゃ面がゆるやかであることを表している。

(4) この地図の縮尺は2万5千分の1なので、実際のきよりは2cm×25000=50000cm=500m。

8 季節風は、夏は南東、冬は北西からふく 20 ページ

- (1) 四季 (2) 南東、雨、北西、雪
(3) つゆ(梅雨)、台風
(4) ①イ ②ウ ③ア

解説 (1) 四季とは、春・夏・秋・冬のこと。

(2) 季節風は山にぶつかることによって、その手前側に雨や雪を降らす。

(4) ②瀬戸内地方は年間を通して雨が少ないため、干害がおこりやすい。

9 降水量のグラフは、太平洋側は凸型、日本海側は凹型 21 ページ

- (1) ①イ ②カ ③ア
④オ ⑤エ ⑥ウ

解説 (1) ①の札幌は北海道の気候、②の東京は太平洋側の気候、③の上越(高田)は日本海側の気候、④の長野は中央高地の気候、⑤の岡山は瀬戸内の気候、⑥の那覇は南西

諸島の気候にそれぞれ属する。

10 少子高齢化の人口ピラミッドはつば型 22 ページ

- (1) 80億、1億2400万
(2) イ、つば型 (3) 少子高齢
(4) 第3次産業

解説 (2) アの人口ピラミッドはつりがね型、ウの人口ピラミッドは富士山型。

(4) 第3次産業とは、商業やサービス業などのことをいう。いっぽんに経済や産業の発展にともない、さかんな産業は第1次産業(農業や水産業など)から第2次産業(工業など)、そして第3次産業へと変わっていく。

11 東京・横浜・大阪・名古屋に人口が集中 23 ページ

- (1) 横浜市、大阪市、名古屋市
(2) 政令指定都市
(3) ①横浜市、川崎市、相模原市(のうち2つ)
②福岡市、北九州市
(4) (例) 交通渋滞、あるいは騒音
(5) 過疎(化)

解説 (2) 政令指定都市とは、大都市における行政の運営を効率よく行うために指定された一定以上の人口をもつ都市。

(5) 人口がきよくたんに減少すると、病院や学校が閉鎖されたり、バス路線が廃止されたりして、生活ができにくくなる。

12 国土の約3分の2が森林 24 ページ

- (1) 3, 2
(2) 秋田すぎ、青森ひば、木曽ひのき
(3) 天竜すぎ、尾鷲ひのき、吉野すぎ
(4) 緑のダム (5) ベトナム
(6) 農業用水



- 解説** (1) 日本の森林面積は約2500万haで、国土全体の約3分の2をしめる。
- (2)(3) 木曾ひのきは長野県、天竜すぎは静岡県、尾鷲ひのきは三重県、吉野すぎは奈良県に広がっている。
- (5) 木材はほかにもカナダやロシアからの輸入が多い。
- (6) ほかに水は生活用水、工業用水に使われる。

13 東北・北陸地方は「日本の米ぐら」
.....25～26 ページ

- (1) 日本の米ぐら(穀倉)
- (2) ①東北 ②北陸 ③北海道
- (3) 北陸、水田単作地帯、品種改良
- (4) 新潟県、北海道
- (5) ①石狩平野 ②仙台平野
③庄内平野 ④越後平野
- (6) ①ウ ②ア ③エ ④イ
- (7) イ、エ

- 解説** (4) 新潟県・北海道について、秋田県・山形県・宮城県などでも、米の生産量が多い。
- (5) ①北海道ではほかにも上川盆地などで米の生産がさかん。
- (7) イの東京都は耕地が少ないため、エの沖縄県は平野が少なく大きな川がないため、米の生産量が少ない。

14 中ばしやアイガモ農法でおいしい米作り
.....27～28 ページ

- (1) ①エ ②イ ③ア
- (2) ウ (3) 根、養分
- (4) ③→①→② (5) 減反政策
- (6) 転作 (7) 自由化
- (8) タイ (9) コシヒカリ
- (10) ①北海道 ②山形県 ③宮城県
- (11) たい肥

- 解説** (1) ウの農薬をまいて雑草をからすの

- は、除草とよばれる作業のこと。
- (2) アは田植え機で田植えのとき、イはコンバインで稲かりのとき、ウはトラクターで田おこしやしろかきのときに使われる。
- (6) ほかに減反政策では、耕作を休む休耕が行われた。
- (7) 米の輸入自由化は外国から強く要望されていた。
- (9) ついでひとめぼれ・ヒノヒカリ・あきたこまちなどの作付面積が多い。

15 暖かい地方で促成栽培、すずしい地方で抑制栽培
.....29～30 ページ

- (1) 近郊農業 (2) コールドチェーン
- (3) 促成栽培 (4) ウ
- (5) (例)ほかの産地からの出荷が少ないため、高い値段で売れるから。
- (6) ①ウ ②ア ③イ ④エ
- (7) ①北海道 ②埼玉県
③栃木県

- 解説** (1) 大都市の周辺では、作った野菜を新鮮なまま早く、輸送費を安く出荷できる利点がある。
- (4) ウは高知平野で、ビニールハウスが立ち並んでいる。促成栽培はほかにも宮崎平野などでもさかん。
- (5) 抑制栽培は夏でもすずしい気候を利用して、出荷時期をおくらせる。高冷地農業ともいう。
- (6) ①④では促成栽培がさかんな高知県や宮崎県が上位にきていることに注目。②③では抑制栽培がさかんな群馬県や長野県が上位にきていることに注目。
- (7) たまねぎは北海道の生産量がダントツ。ねぎはいたみやすい野菜なので、近郊農業がさかんな県が上位にくる。いちごは「とちおとめ」などの品種が有名な栃木県。

16 みかんは暖かいところ、りんごはすずしいところ 31 ~ 32 ページ

- (1) ①エ ②イ ③ウ ④ア
 (2) おうとう(さくらんぼ) (3) 輸入自由化
 (4) 茶
 (5) ①さとうきび, エ
 ②てんさい, ア ③い草, ウ
 (6) 北海道, 鹿児島県
 (7) 大豆, アメリカ合衆国

解説 (1) ぶどうとももはともに山梨県が1位であるが、ぶどうは2位に長野県、ももは2位に福島県がきていることに注目。みかんは上位3県をおさえておこう。
 (4) 静岡県や鹿児島県、三重県などがふくまれていることに注目する。
 (7) 小麦は輸入のほとんどがアメリカ、カナダ、オーストラリアの3国でしめられている。

17 乳牛は北海道、肉牛・ぶたは南九州 33 ページ

- (1) ①ウ ②エ ③イ ④ア
 (2) 自由化, 飼料

解説 (1) ①と②は鹿児島県と宮崎県がともに上位であるが、①は大消費地に近い群馬県が上位に来ていることからぶた、②は岩手県が3位に来ていることから肉用若鶏と判断する。③と④はどちらも北海道が1位であるが、④は栃木県が上位にきていることから乳牛、③は鹿児島県や宮崎県が上位にきていることから肉牛と判断する。

18 集約的農業と米の生産額の減少 34 ページ

- (1) 集約的農業, 高齢化
 (2) ①イ ②ウ ③ア
 (3) ①イ ②ウ

解説 (1) 集約的農業は多くの人手と肥料を使って、単位面積当たりの収穫量をあげようとする農業。

(3) ①は米の割合が大きいこと、②は畜産物の割合が大きいことに注目する。

19 干拓やかんがい用水で農地をひらく 35 ページ

- (1) ①八郎潟 ②児島湾 ③有明海
 (2) 客土
 (3) ①愛知用水 ②香川用水
 ③安積疏水

解説 (2) 石狩平野は客土を行ったことで、全国有数の米の生産地となった。

(3) 愛知県を流れる3つの用水路は混同しやすいので、要注意。知多半島を流れるのが愛知用水、岡崎平野を流れるのが明治用水、渥美半島を流れるのが豊川用水。

20 とる漁業から育てる漁業へ 36 ~ 37 ページ

- (1) ①イ ②ア ③エ
 (2) 石油危機, 排他的
 (3) さけ・ます, チリ
 (4) 潮目(潮境) (5) 大陸だな
 (6) ①釧路港 ②銚子港 ③焼津港
 (7) ●かき ▲真珠
 (8) はえなわ, まきあみ

解説 (1) 遠洋漁業は1980年代後半に漁獲量が大きくへっていることからイ、沖合漁業は以前に比べ、漁獲量を落としているが、現在も漁獲量がトップであることからア、養殖業は徐々に漁獲量を増やしていることからエと判断する。

(2) イは遠洋漁業で、日本の200海里外で漁をするため、燃料費の値上がりや排他的経済水域の設定の影きを強く受けた。
 (5) 東シナ海とは日本の西、南西諸島とユーラシア大陸にはさまれた海。



- (7) ●は宮城県みやぎの松島湾まつしまや仙台湾せんたい、広島県ひろしまの広島湾ひろしまにみられることからかき、▲は三重県みえの志摩半島しまた、愛媛県えひめの宇和海うわなどにみられることから真珠と判断する。

21 日本の食料自給率は約40%

.....38 ページ

- (1) 40
(2) ①ウ ②ア ③エ ④イ
(3) ①エ ②イ ③ア ④ウ

解説 (1) 日本の食料自給率じきゅうりつは先進国せんしんこくのなかでも特に低い。

(2) ②は1990年ごろ特に落ち込みがはげしいことから、このころ輸入ゆにゅうが自由化された肉類と判断できる。④は自給率が1桁けたであることからほとんどを輸入にたよる大豆と判断できる。

(3) ①は中国ちゆうごくや韓国かんこくが上位に来ていることから野菜、②③④はいずれもアメリカが1位であるが、②はカナダやオーストラリアから小麦こもぎ、④はブラジルやカナダから大豆のこ、残った③がとうもろこし。

22 重化学工業が日本の工業の中心

.....39 ~ 40 ページ

- (1) 重化学じゅうか、軽 (2) 重化学工業じゅうか
(3) 鉄鋼てっこう(業) (4) 化学工業
(5) せんい工業
(6) ①エ、キ ②イ、シ ③ク、サ
④カ、コ ⑤ア、ケ ⑥ウ、オ
(7) ③→④→②→①
(8) (例) 作業が危険なため。
(9) 流れ (10) 関連かんれん(協力)
(11) 中国、アメリカ合衆国
(12) 豊田市とよた、企業城下町きぎょうじょうかまち

解説 (4) 化学工業は石油をおもな原料に、合成ゴムや化学せんいを作る。

(5) せんい工業は綿花めんかや羊毛ようもうを原料に、衣類いりや糸などを作る。

- (9) 分業による流れ作業で効率化をはかっている。
(11) 中国とアメリカについて日本が3位である。

23 鉄鋼・石油化学は臨海部、ICは空港・高速道路付近

.....41 ~ 42 ページ

- (1) ●製鉄所 (●) 石油化学コンビナート
(2) 原料 (3) オーストラリア
(4) 小型こがた、高い、空港
(5) シリコンアイランド
(6) ①オ ②イ ③カ
④ア ⑤ウ ⑥エ
(7) ⑥

解説 (1) ●は北海道ほっかいどうの室蘭市むろらんや福岡県ふくおかの北九州市きたきゅうしゅうにも見られることから製鉄所、●(赤い丸)は東京湾周辺とうきょうわんしゅうへんに集中していること、山口県やまぐちの周南市しゅうなんなどに見られることから石油化学コンビナートと判断する。

(2) 原料の石油や石炭は大変かさばるため、船で運ばれる。
(7) 東京さいたまや埼玉おおさか、大阪などの大都市がある地域ちが上位であることから判断する。

24 日本の工業は加工貿易で発展

.....43 ページ

- (1) 重化学工業 (2) 加工貿易かこう
(3) 現地生産げんち (4) 空洞化くうどうか
(5) ①ウ ②ア ③イ
(6) 低く、少ない

解説 (5) 工場しょうの数では中小工場がかなり多いが、出荷額しゅつがくはあまり変わらない。

25 国が伝統的工芸品を指定

.....44 ページ

- (1) ①南部鉄器なんぶ ②宮城伝統こけしみやぎでんとう
③輪島ぬりわじま ④西陣織にしじんおり
(2) イ

解説 (2) 伊万里・有田焼や唐津焼が有名な佐賀県、赤津焼が有名な愛知県、信楽焼が有名な滋賀県などから、焼き物と判断できる。

26 工業地帯・地域は太平洋ベルトに集中
.....45～46 ページ

- (1) 太平洋ベルト
- (2) ①豊田(市)、横浜(市)
②四日市(市)、川崎(市)
③東京 ④瀬戸(市)
- (3) ①イ ②ウ
- (4) ①ウ ②イ ③ア
- (5) 八幡製鉄所

解説 (3) ①金属工業の割合が高いグラフを探す。②食料品工業の割合が高いグラフを探せばよい。

27 関東内陸・東海は機械、瀬戸内・京葉は化学
.....47～48 ページ

- (1) 関東内陸工業地域
- (2) 瀬戸内工業地域 (3) 自動車工業
- (4) エ
- (5) ①エ ②ア
- (6) ①ア ②イ ③ウ (7) うめ立て

解説 (4) エは倉敷市で、この都市の水島地区には大規模な石油化学コンビナートがある。
(5) ①機械の割合が高いグラフを探す。②化学の割合が高いグラフを探す。
(6) 製紙・パルプ工業は水のきれいなところでさかんである。

28 原油はほとんど中東地域から輸入
.....49 ページ

- (1) ①サウジアラビア ②オーストラリア
③インドネシア ④マレーシア
- (2) ①水力発電 ②火力発電
③原子力発電

解説 (1) 原油はほぼ中東(西アジア)の国々から輸入されている。
(2) 火力発電が現在の発電の中心であること、水力発電は大きく割合をへらし、原子力発電は大きく割合をのばしていることをおさえよう。

29 水俣病は有機水銀、イタイイタイ病はカドミウム
.....50 ページ

- (1) 騒音
- (2) ①有機水銀 ②イタイイタイ病
③四日市ぜんそく ④阿賀野川
- (3) 環境省 (4) リサイクル

解説 (3) 1971年に環境庁が設置され、2001年に環境省となった。
(4) ほかに環境問題対策として、家電リサイクル法などが定められている。

30 輸出は自動車、輸入は石油に着目！
.....51 ページ

- (1) 黒字 (2) 石油(原油)
- (3) 自動車
- (4) ①エ ②ウ

解説 (1) 輸出額が輸入額を上回ることを貿易黒字、逆に輸入額が輸出額を上回ることを貿易赤字という。
(4) ①中国が圧倒的な割合をしめていることから衣類。②中国やアメリカ、ロシアなどが上位であることから魚介類。

31 二大貿易相手国は、中国・アメリカ
.....52 ページ

- (1) まさつ (2) 現地生産
- (3) ①中国(中華人民共和国)
②インドネシア
③アメリカ(合衆国)
④オーストラリア

解説 (2) 現地生産のほかにも、輸入自由化な